

CONTENTS

CNCP 通信

VOL.138/2025.10.5

■ 今月の土木 ■



広島駅エリアデザインツインプロジェクト

▼社会課題への取り組み

- ・「適疎な地域づくり」の研究動向 2
：田中努

▼つなぐ活動

- ・インフラパートナーの紹介を土木学会全国大会ポスターセッションで
：田中努

▼フレンズコーナー

- ・デジタルツインで挑む、次世代まちづくり共創アクセラレーション
：來山尚義

▼事務局通信

■ デジタルツインで挑む、次世代まちづくり共創アクセラレーション

復建調査設計(株)は、アジア航測(株)と共同で、住民や事業者、来街者などに情報サービス提供を行うための“広島駅エリアデジタルツインプロジェクト”の取り組みを進めています。

その成果として、令和5年3月にはエリアマネジメント活動を持続的・効果的に推進するための地域情報プラットフォームを開発しました。

そして今年度は、さらに有効活用するためのアイデアを広く募集する“Urban Innovation Challenge (UIC) HIROSHIMA 2025”と銘打ったイベントを実施しています。多くの応募チームから最終発表チームを選定し、2か月かけてアイデアの解像度向上や実装方法の確認などを支援し、最終発表会を行います。(來山尚義)

▼フレンズコーナーに続く

